

令和5年度発達障がい早期総合支援研修会について

日時・場所	令和5年12月22日(金) オンライン研修(会場参加、後日 Youtube 配信)
研修内容	講演「読み書きが苦手なお子さんへの支援について」
講師	ディスレクシア協会名古屋代表 吉田 優英氏
参加者	<p>●会場参加 19人</p> <p>町内園 1人(ハーモニー)</p> <p>小学校 10人(東郷・音貝)</p> <p>中学校 1人(春木)</p> <p>きらきらこども 7人</p> <p>●オンライン参加 3人</p> <p>町内園 1人(ハーモニー)</p> <p>小学校 2人(諸輪・音貝)</p> <p>●後日 Youtube 視聴 39人(予定)</p> <p>町内園 14人(ハーモニー)</p> <p>小学校 19人(諸輪・音貝・兵庫・ハートフル)</p> <p>児童館 4人</p> <p>福祉課 2人</p> <p>【事務局】</p> <p>こども健康課職員6名</p> <p style="text-align: right;">計67人</p>
研修内容	<p>・SLD(限局性学習症)とは、知的発達に遅れはないが、聞く・話す・読む・書く・計算する・推論する力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す。なかでも、発達性ディスレクシア(発達性読み書き障害)は学習障害の8割をしめ、ADHDや自閉スペクトラム症を合併していることもある。</p> <p>・読みの障害は、目を見た「文字」を頭の中にある「音」に変換する(デコーディング)力が弱い。書きの障害は、頭の中で考えた「音」を「文字」にする力(エンコーディング)が弱い。皆と同じように学ぶことができるよう「合理的配慮」が必要となる。(リーディングスリットの活用、読み上げソフト、漢字にフリガナをつける、テストの時間延長、板書をカメラで撮る、ICT機器使用等)</p> <p>・選択制注意の困難さがあり、聞く力が弱い子には口頭指示だけでなく視覚支援が必要。</p> <p>・幼児期には、まずは語彙力を育てることが大切。無理にやらせず興味をもってから、まずは読めるようにする。絵本やすごろく遊びなど楽しみながら行う。</p>